

米奥小だより

令和8年10月13日(火)

No.23

米奥小学校 校長 北添 忠

〇習字指導

こども県展へ向けて、各学年で作品づくりがスタートしています。その一つである毛筆について、今年も地域の方が指導に来てくれました。3年生以上の児童が対象で、こども県展の学年ごとに違う課題の字について説明を受け、心を落ち着けて書いていました。準備と片付けを含めて2時間、集中して書きました。10月末に、もう一回指導

に来てくれることになっており、そのときには清書をして、ひとりひとりが気に入ったものを一つ選ぶ予定です。



〇陸上大会に向けて

今年も10月23日に窪川小学校を会場に、四万十町小学校陸上記録会が開催されます。この大会には四万十町内のすべての小学校の5.6年生が参加し、競い合います。雨天の場合は中止となる大会で、一昨年度は雨天中止、昨年度は開催できました。今年も晴れることを期待しつつ、5.6年生が練習を開始しまし

た。運動会が終わった翌週の10月2日から、体育の時間や放課後を使って練習を行っています。米奥小学校のグラウンドは、近隣の小学校よりも広く、端から端まで取れば直線で100mが引けるとのことですが、グラウンドの状態を鑑み、60mの直線を引きました。それ以外にも規定よりは少し小さいですが、リレー練習用のトラックとソフトボール投げ用の線も引きました。砂場では走り幅跳びの練習も行っています。

10月に入り、少し涼しくなったので、朝マラソンを再開しました。これも陸上の練習になりま



す。大会まで、あまり日数はありませんが、練習を重ねて、自己ベストの記録ができることを期待するとともに、良い思い出になることを願っています。

○漁業体験

10月8日（木）に、中土佐町の上ノ加江漁港へ行き、漁業体験をしてきました。これは、米奥小学校が取り組んでいる山と川の学習の一つとして行っているもので、山を守り環境を保全していくことが海の豊かさにつながることを実感するためのものです。

港に着くと、すぐにライフジャケットを着用し、活動がスタートしました。まず最初はカツオのたたき作り体験でした。目の前でさばいてくれたカツオを藁で焼き、その場で塩をかけて食べました。次はグループに分かれて釣りとかニかご漁です。港から出てすぐのところに数日前にカニなどを捕るためのかごを沈めてくれていたとのことで、それを引き上げに行きました。グループによって沈めたかごの位置が違うので、漁の内容もそれぞれでした。カニが数匹のグループもあれば、十匹近く捕れたグループもありました。捕れたカ



ニなどは、すぐに調理してくれ、昼食で食べました。カニ以外にもフグも捕れました。フグは食べることはできませんが、フグを捕ることで海藻を守ることができるとのことで、フグを一



番多く捕った2班が「一等賞」となりました。釣りについては、昼食までの間にみんなが港の岸壁で、小さなエビ（おきあみ）を餌にして行いました。潮の動きが少ない干潮の時間帯であったためか、昨年度よりは釣果は今一歩だったようでしたが、それでも、のべ8人くらいが釣り、フグ以外は昼食として食べました。

子どもたちは、もっともっと釣りがしたかったようで、港を後にするときは少し残念そうでした。

